

# 福島県立聴覚支援学校

本校は、聴力に障がいをもつ児童・生徒に、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずる教育を行い、併せて聴力のしょうがいを補うために必要な知識・技能を教授する学校です。

高等部では、3つの学科において専門的な知識を教授しながら、卒業後の進路実現に向けて尽力しています。

## 学部目標

- 1 相手の立場や場の状況を判断しながら、必要な情報を的確に聞き取り自分の考えを伝え行動できる生徒を育てる。
- 2 自らの目標実現に向けて意欲的・自主的に学習し、様々な課題を解決できる生徒を育てる。
- 3 社会人として自立するための基礎的な知識を身に付け、的確に判断し行動できる生徒を育てる。
- 4 人と人のかかわりの中で協調性を高め、心身ともに健康をめざす生徒を育てる。

## 普通科

普通科1:基礎学力の向上を図り、個性を生かし社会人として多方面に進むことができる一般的な教養と社会の変化に対応できる生きる力や態度の育成に努める。

普通科:社会生活に必要な基本的な知識や態度を身に付け、自ら考え、行動できる力と態度の育成(2~4)に努める。



ALTを招いての授業



進路指導の授業風景

## 情報工業科

コンピュータに関する知識の習得を図り、マルチメディア技術を適切に活用する能力や態度を育てるとともに、金属加工に関する知識と技術の習得を図り、金属に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育て、情報、工業技術の発展に対応し、自己の進路実現に向けて努力する生徒の育成に努める。

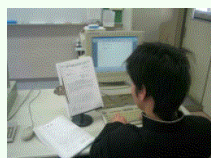
<学習内容> 各教科、専門教科(マルチメディア応用、機械工作、コンピュータ製図、等)総合学習、自立活動 等



コンピュータ製図の授業風景



機械工作の授業風景



マルチメディア応用の授業風景

## 生活技術科

生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を総合的・体験的に習得させ、食品・福祉・アパレル・インテリア産業などの生活に関連する職業への興味・関心を高めるとともに、豊かな生活ができる意欲と態度の育成に努める。

＜学習内容＞各教科 専門教科(生活産業基礎、被服製作、家庭情報処理、等)総合学習、自立活動 等



フードデザインの授業風景



被服製作の授業風景



家庭情報処理の授業風景

### 資格取得状況

日本漢字能力検定 実用英語技能検定 ビジネス文書実務検定 ガス溶接技能講習  
家庭科被服製作技術検定 家庭科食物調理技術検定 マナー検定  
危険物取扱者丙種

### 主な進学・就職先

#### 【 進学 】

東海大学、淑徳大学、福島学院大学短期大学部、東京都立葛飾ろう学校専攻科、  
宮城障害者職業能力開発校 東京障害者職業能力開発校 宮城教育大学  
筑波技術大学 横浜美術大学 福島学院大学

#### 【 就職 】

日産自動車(株)、トヨタ自動車(株)、(株)小松製作所郡山工場 (株)柏屋、(株)キヌガワ郡山、福  
島キヤノン(株) (株)とうほうスマイル 池田食品工業 (株)パナソニックデバイスマテリアル郡山  
(株)オネストノボオフィス (株)いわき遠野らばん SMC(株)矢祭工場  
ソニーエナジー・デバイス(株) 伊藤食品工業((株) (株)デンソー福島 (株)ディスタ白河

## 福島県立聴覚支援学校

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮西 32 番地

Tel (024)951-2081 Fax (024)951-8410

# 進路実現に向けて ～ 聴覚支援学校高等部の取り組み ～

## 職場体験実習

職場に出向き実際に仕事を行うことで、働くことの喜びや厳しさを知り、また職場の方々との関わりを通して職場のルールやマナーを学び、社会自立に必要な力を身につけます。

### 【実習先】

老人介護施設、筆記用具製造、弁当製造、菓子製造、スーパーマーケット、電子部品製造、衣料品販売、自動車整備工場、精密機械製造 製造業 等



清掃業での実習



スーパーマーケットでの実習



製造業会社での実習

## 職場見学

さまざまな職業の現場や作業の様子を実際に見学し、さまざまな職種があることを知るとともに、自らの適性や進路について真剣に考える機会とします。



## 先輩の話を聞く会

身近な存在である卒業生に、社会のマナーやルール、苦労話などの話をさせていただくことによって、これからの学校生活や進路についての意識を高め、正しい職業観を育むことを目的にしています。



### 先輩の話から ～社会において大切なこと～

- 「体力」「根気」「集中力」=必要な力
- 「あいさつ」と「ルールを守ること」は基本である。
- 分からないことは、分かるまで確認をすること。

## 【 聴覚しょうがい者の一般的な職業特性 】

### < 身体面での特徴 >

- ・ 身体運動機能についての影響はほとんどありません。
- ・ 健康管理や体力が雇用上の問題になることはこれまでありません。
- ・ 作業現場における危険を知らせるパライトの設置や非常時の避難手段の確保などを除けば、特別な設備改善などはあまり必要としません。

### < 行動面での特徴 >

- ・ 職場における常識やマナー等が身に付きにくかったり、気づくのにかかる時間がかかったりすることがあります。そのために常識に欠けていると思われてしまうことがあります。

### < 作業面での特徴 >

- ・ 聴覚しょうがいがあるために出来ない作業はほとんどありません。
- ・ 文章の読み書きが苦手な場合があり、実際よりも学力面で過小評価されてしまうことがあります。
- ・ 動作的な能力は高くても、読み書きの能力によって、試験などでは十分に評価されないことがあります。
- ・ 共同作業などでは、内容の確認方法を決めておかないと、グループとしての成果が十分に現れないことがあります。

## 【 ささまざまなコミュニケーションの方法があります 】

### < 口話、読話 >

残っている聴力を活用しながら、相手の唇の形や動きを読み取ってコミュニケーションをとる方法です。

### < 筆談・空書 >

紙に書いたり、手や空間に文字を書いたりして相手に示す方法です。

### < 手話 >

手や表情を使って表現する、耳の不自由な人にとっては最もリラックスできるコミュニケーション手段です。

### < 指文字 >

50音を片手の指で表現する方法で、手話の補助的な表現として使われます。

### < 情報機器の活用 >

パソコンや携帯電話のメール、FAXなどで情報を伝えます。後で見返すのにも便利です。

## 【 少しの配慮で、コミュニケーションがスムーズになります 】

- 表情や口元がよく見えるように、顔がしっかり見える状況で話をするとう伝わりやすくなります。
- ゆっくり、はっきりと話し、「これから〇〇について話します」などのキーワードがあると内容が伝わりやすくなります。
- 業務で使用する専門用語や略語などは、読み方と意味が明記されたリストがあると伝わりやすくなります。